

# 米津玄師とハチの歌詞の比較と考察

塚本耕紀 23B12011

東京工業大学工学院

## 1. はじめに

シンガーソングライターの米津玄師氏は、ハチという名前でもボーカロイド曲を作成している。作る楽曲によって米津玄師とハチの名前を使い分けているため、それらの作る楽曲の特徴は異なるのかを調査した。

## 2. 方法

米津玄師とハチのそれぞれが作詞した楽曲のうちYouTube上で再生回数の多い上位五曲の歌詞について、単語別にプラスの意味であるかマイナスの意味であるか分類し、その数を数えた。

## 3. 結果

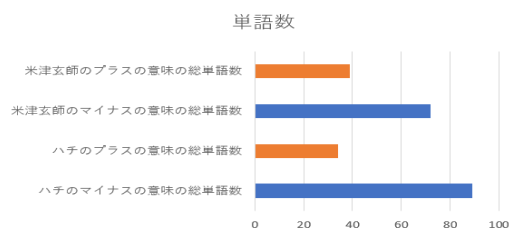
米津玄師の再生回数上位の曲のプラス、マイナスの意味の単語の数(表1) ↓

	プラスの意味の単語	マイナスの意味の単語
Lemon (米津玄師)	8	18
アイネクライネ (米津玄師)	6	15
LOSER (米津玄師)	9	13
ピースサイン (米津玄師)	10	14
灰色と青 (米津玄師)	6	12
合計	39	72

ハチの再生回数上位の曲のプラス、マイナスの意味の単語の数(表2) ↓

	プラスの意味の単語	マイナスの意味の単語
砂の惑星 (ハチ)	6	12
マトリョシカ (ハチ)	7	17
ドーナツホール (ハチ)	7	20
パンダヒーロー (ハチ)	6	18
結んで開いて羅刹と骸 (ハチ)	8	22
合計	34	89

米津玄師、ハチの再生回数上位の曲のプラス、マイナスの意味の総単語数(グラフ) ↓



プラス、マイナスの単語の分類については参考文献にある本を参考にした。

グラフより、米津玄師の楽曲についてはマイナスの単語がプラスの単語の1.85倍ほどであったことがわかり、ハチの楽曲についてはマイナスの単語がプラスの単語の2.61倍ほどであったことがわかる。

## 4. 考察

米津玄師およびハチが作詞する曲は、どちらもマイナスの意味の単語はプラスの意味の単語に比べて明らかに多いという特徴があることがわかった。これは、名前が異なるが、同一人物が作詞している影響であると考察できる。結果でも述べたように、米津玄師よりもハチのほうが、マイナスの単語が出てくる割合が高いことがわかる。これは本人自身の声で歌っている米津玄師よりも、肉声ではなくボーカロイドに歌わせているハチのほうがマイナスの言葉を言うことへの抵抗が少ないのではないかと考察できる。

## 5. 終わりに

今回、米津玄師およびハチの歌詞の比較を行い、米津玄師とハチが作詞した歌詞は大まかな傾向は一致しているが、ハチの方がややマイナスの単語が多い傾向があることが分かった。米津玄師以外にも、活動内容によって名前を分けるアーティスト存在するため、今後はそれらの人々についても同様な結果が得られるのか確かめたいと思う。

## 文献:

国立国語研究所 (1964) 分類語彙表 秀英出版